

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科 医療情報学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18038	1	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	栄養学総論 (General theory of Nutrition)				
担当教員名	神田 裕子				
授業の概要及び到達目標					
<p>栄養とは生物が活動、成長、増殖のために外界から必要な物質を取り込み、生命を維持していく現象である。したがって、栄養学総論では栄養素の摂取、消化、吸収、代謝、排泄および防御機構等、幅広い分野について学習し、理解ができることを到達目標とする。講義では、栄養学の定義である「人体と食物の相互作用を明らかにする学問」について解説し、現在の日本の疾病の状況、食生活の実態を報告する。次に、栄養の歴史、栄養状態の判定、空腹と食欲について学ぶ。これらの知識をもとに栄養素である糖質、脂質、タンパク質、無機質、ビタミンについてその栄養学的機能、消化・吸収・代謝、食事摂取基準、欠乏症等について講義する。</p>					
準備学習等					
<p>1年生前期「生物Ⅱ」、「生物Ⅰ」、「化学Ⅱ」、「化学Ⅰ」、「体のはたらきと仕組みⅠ・Ⅱ」の基本的事項について十分復習し、理解をしておくこと。 毎回予習と復習をしっかりと組みながら、授業には参加してください。特に、復習に重点をおき学習しましょう。</p>					
成績評価の方法	学期末試験 80% (課題レポート含む)、授業態度・授業への取り組み状況および出席状況 20%				
テキスト	看護学科・・・「未定」医歯薬出版 医療情報学科・・・「未定」				
参考図書	<p>「時間栄養学」香川靖雄著 女子栄養大学出版 「人体栄養素の基礎 (管理栄養士講座) 山本茂編著 建帛社 「栄養学原論」渡辺昌著 南江堂、「栄養療法がわかる!できる!」泉野浩生著 羊土社、「重症患者の治療の本質は栄養管理にあった!」真弓俊彦著 羊土社、「高齢者の栄養はじめの一步」大村健二編 羊土社その他は、授業中に紹介・指示します。</p>				

備 考	<p>最新情報は、授業の中で随時紹介する。</p> <p>再履修を希望する場合は、必ず在籍する学科の授業を履修すること。</p> <p>授業の進捗度、理解度により変更になる場合があります。</p> <p>看護学科に関しては専門性を考慮し、外部講師を2回招聘する予定です。</p> <p>オフィスアワーは、適時、授業中および授業後に教室等で受け付ける。</p> <p>卒業認定と学位授与方針と該当授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p>
授 業 計 画	
<p>第 1 回 栄養の意義と栄養学の目的</p> <p>第 2 回 食品と栄養—食品の種類、食品の栄養素、調理と加工</p> <p>第 3 回 栄養素の栄養的役割①炭水化物、脂質</p> <p>第 4 回 栄養素の栄養的役割②タンパク質、アミノ酸</p> <p>第 5 回 栄養素の栄養的役割③ビタミン、ミネラル、水について</p> <p>第 6 回 消化と吸収について</p> <p>第 7 回 エネルギー代謝等について</p> <p>第 8 回 ライフステージと栄養①母性栄養、乳幼児、学童期、思春期</p> <p>第 9 回 ライフステージと栄養②成人期、更年期、老年期</p> <p>第 10 回 生体内の物質交換①代謝のあらまし、酵素などについて</p> <p>第 11 回 生体内の物質交換②3 大栄養素の代謝について</p> <p>第 12 回 疾病の予防と治療における栄養の役割</p> <p>第 13 回 栄養と健康①—わが国の栄養と健康状態の推移、栄養評価</p> <p>第 14 回 栄養と健康②—食事摂取基準等について</p> <p>第 15 回 まとめ</p> <p>*使用するテキストや授業内容もそれぞれの学科により異なります。</p>	